

住宅火災による死者の発生を防ぎましょう！

県内において住宅火災による死者が多発しています。
消防署では、火災から尊い命を守るため
「住宅防火 命を守る 7つのポイント」を呼びかけています。

★3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

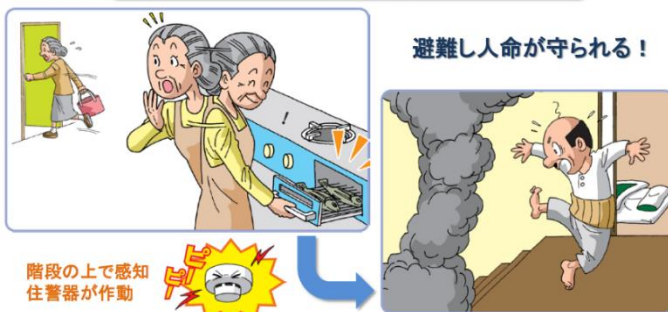
★4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

設置してよかった住宅用火災警報器の事例

住宅用火災警報器の奏功事例①

1階の台所から出火
2階で就寝中の居住者が、階段の住警器の鳴動に覚知
119番通報し、避難



住宅用火災警報器の奏功事例②-2

就寝中、掛け布団が電気ストーブに触れる
ふとんを焦がし、寝室の住警器が鳴動
急いで水をかけ、大事に至らず



火災の早期発見、逃げ遅れ防止のために

住宅用火災警報器の設置と点検をしましょう！

お問い合わせ

千曲坂城消防本部予防課 026-276-0119